

### 童謡のまちづくり実行委員会を開催



↑高校生も加わった童謡のまちづくり実行委員会

6月5日（金）、広野町役場で第1回童謡のまちづくり実行委員会を開催し、遠藤町長が委員に委嘱状を交付したのち、10月18日（日）に広野町中央体育館で開催予定の第21回ひろの童謡まつり音楽祭と、それに伴う童謡作詩コンクールなどについて話し合いました。委員には、ふたば未来学園高校の生徒2人と東日本国際大学の学生2人も含まれています。

### （仮称）広野東口ビル新築工事を起工



↑（仮称）広野東口ビル新築工事起工式の様子

5月25日（月）、JR広野駅東側で（仮称）広野東口ビルの起工式を挙行了しました。この事業は、国の福島再生加速化交付金を活用し、広野駅東側第1期開発整備事業エリアで、選定事業者である清水建設株式会社が6階建てのテナント用オフィスビルを整備するものです。このビルは広野町復興計画「復興ゾーン」のシンボリックな建物であり、非常用発電機、太陽光パネル、防災備蓄倉庫を備え、有事には避難ビルとしての機能を担っています。

### 町議会、川内村、川内村議会と合同緊急要望活動を実施



↑町・町議会・川内村・川内村議会合同緊急要望活動の様子

広野町は、6月3日（水）、広野町議会、川内村、川内村議会とともに、東京都内において与党に対して合同緊急要望活動を行いました。遠藤町長、鈴木町議会議長、遠藤雄幸川内村長、西山東二川内村議会議長が自由民主党本部を訪れ、同党の額賀福志郎東日本大震災復興加速化本部長に緊急要望書を手渡しました。内容は、政府与党から発表された「復興加速化のための第五次提言」を受け、内閣総理大臣からの避難指示を受けた双葉郡内の町村としての立場から、“帰還実現に向けた生活再建への支援について”の緊急要望です。

### クリーンアップ作戦で水環境を守る



↑クリーンアップ作戦の様子

5月31日（日）、町内折木川、浅見川および北迫川の河川敷で、広野町クリーンアップ作戦を実施しました。これは、良好な河川環境を保全するとともに、町民の河川愛護意識を喚起することを目的に、毎年行っているものです。町民、町職員、福島県富岡土木事務所、町消防団などが大勢参加し、河川敷のごみ拾いに汗を流しました。

### 衆議院東日本大震災復興特別委員会が来町



↑中高一貫校建設予定地を視察する衆議院東日本大震災復興特別委員会一行

5月25日（月）、衆議院の東日本大震災復興特別委員会の一行が広野町を訪れ、遠藤町長の案内で中高一貫校「ふたば未来学園」の新校舎建設予定地を視察しました。町長は、作業員との共存共栄などの課題について説明するとともに、①作業員宿舎の建築規制の立法化、②子どもたちの教育環境や生活環境の安心・安全、教育環境の充実などを要望しました。

### 広野さつき会がさつき展を開催



↑広野さつき展の作品

6月6日（土）、7日（日）の2日間、ニッ沼総合公園内のパークギャラリーで広野町文化協会・広野さつき会が広野さつき展を開催し、見事なさつきの盆栽を披露しました。

### 緑の少年団を結団



↑緑の少年団結団式の様子

6月15日（月）、広野小学校で平成27年度広野町緑の少年団が結団式を行いました。この団体は、広野小学校6年生の児童により組織するもので、震災後初めての結団となります。今後は、7月4日（土）にニッ沼総合公園で開催する花いっぱい運動や、防災緑地の植樹などに参加する予定です。菅野副町長が団員に緑の帽子、スカーフ、手帳を渡したあと、団長が入団宣言をしました。

### 駐日米国大使館公使が来町



↑ふたば未来学園高校を視察するウェルトン公使

6月12日（金）、駐日米国大使館のダナ・ウェルトン公使が広野町を訪れ、防災緑地、広野駅東側開発整備事業予定地、ふたば未来学園高校を視察しました。現地では、遠藤町長が復興の進捗状況などを説明し、公使は時折うなずきながら熱心に耳を傾けていました。